

2013年10月15日
豪州の『新コロambo計画』実施を歓迎
共同プレスリリース（仮訳）

10月15日に東京で開催された日豪外相会談において、岸田文雄外務大臣とジュリー・ビショップ・オーストラリア外務大臣は、両国の人的交流、特に若者の交流を進めるための協力を強化することで意見の一致をみました。

両大臣は、力強い教育のつながりが二国間関係にもたらす恩恵を強調しました。両大臣は、オーストラリアと日本との間には確立された大学間のつながりがあり、日本とオーストラリアとの間の学生交流を増加させる確固たる基盤があることに留意しました。

ビショップ外務大臣は、オーストラリアの若者280名を含む3万人のアジア太平洋地域の若者が日本を訪問して2週間の留学プログラムを実施するJENESYS2.0や、2013年に130名の新たな参加者がオーストラリアから来日するJETプログラムといった日本の交流プログラムを賞賛しました。

両大臣はオーストラリア政府のイニシアティブである「新コロambo計画」について議論しました。「新コロambo計画」は、オーストラリア人学部生が留学やインターンシップを通じて、オーストラリアのアジア太平洋についての知見を高めるとともに、人的交流と大学間の関係を強化することを目的としています。

岸田外務大臣は、ビショップ外務大臣による「新コロambo計画」のパイロットプロジェクトを2014年に日本で実施するとの提案を歓迎しました。両大臣は、「新コロambo計画」により、多くの才能あるオーストラリアの青年が日本に留学し、働く経験を得ることが奨励され、両国間の親密なつながりが育まれることを強調しました。両大臣は、日本とオーストラリアはこのイニシアティブを早期にかつ成功裏に実施するために協力するとの決意を表明しました。